

第15回

(通算3561回) 例会
令和5年10月19日
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

米山奨学生の立場から

米山奨学委員会 担当



2023-24 RI テーマ・世界に希望を生み出そう

10月 地域社会の経済発展月間



福井 敬会長

馬 禎珠様

高木 優州

井川 和英

地区米山記念
奨学委員会副委員長

会長挨拶

福井 敬 会長

ハロウィンは日本でここ10年間で急速に広まり、今や秋の風物詩として定着しつつあります。

アメリカでは、ハロウィンは19世紀半ばまで特定の移民共同体の内だけの行事として行われていましたが、アイルランド系アメリカ人が力を付けていくと、徐々に主流社会に受け容れられ、アメリカの祝祭日にまでなりました。20世紀初頭には、アメリカのほとんどの人々に受け入れられ、東海岸から西海岸へ広まりました。1950年代には「Trick or Treat」の合言葉が普及し、アメリカでは子供たちが家々を訪ね、菓子をcollectして回る習慣となっています。このようなアメリカ風のハロウィンの風習は、アメリカ人がワールドワイドに活動の場を広げていくことで世界中で広がりました。ハロウィンは単に商品を買うだけでなく、仮装をして集まることが重要です。このような行為にお金を費やすことを「トキ消費」と呼ぶそうです。この「トキ消費」は私には、仮想空間の中で満足するだけで、現実では孤独感の裏返しのように思えます。人と人が正面を向いて語り合う方が本当は大切なことに感じます。しかし、仮装することによって今までと違った自分を表現でき「非日常」を演じるのもストレスの多い現代人には必要なのかもしれません。

趣旨説明

井川 和英 米山奨学委員長

豊橋RCはこれまで多くの奨学生を支援してきました。本日は、米山奨学生を卒業後に日本で就職し、学友として活動して得られたことや、今後のビジョンについて他クラブの学友からお話していただきます。また同時に、米山奨学事業に継続的に関わっていく重要性等を、地区米山委員からお聞きすることで、米山記念奨学事業が私たちロータリアンにとって、和む「和」、話す「話」、人との「輪」を大切に、これから考えていかなければならないものだと思います。本日の例会を企画いたしました。

米山記念奨学事業について

高木 優州 地区米山記念奨学委員会副委員長

米山記念奨学事業の使命は、将来日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することであり、それにより世界平和や国際理解を実現していくことです。14億円もの多額の寄付を元に、これまで累積2万人を超える奨学生を排出してきました。米山記念奨学事業の成果は、卒業した奨学生達が学友として活躍していることです。米山学友会は日本に33、海外に10あり、日本を大切に思い、各学友会で思い思いの奉仕活動をされています。米山記念奨学事業の本質は、ロータリアンと奨学生との関わりから感謝の心を作り、奨学生が恩を返す活動を行うことで、循環を作っていくことだと考えます。皆さまのご協力を得ながら、事業を継続的に進めていくことで、日本を大切に思う学友達が大きな力となってくれると考えます。

米山記念奨学事業が70年継続することが出来たのは多くの方々のご理解と、一緒に活動する中で何かあったかいいものを感じていただけたからだと思います。世話クラブ、カウンセラー制度の下で奨学生と同じ時間を過ごし、応援することで、奨学生も活躍していき、米山記念奨学事業の思いが更に大きなものになっていくと思います。その思いがあり続けられれば、本事業の使命を果たすことが出来ると思います。

米山奨学生の立場から

馬 禎珠様

私は韓国の釜山出身で、2017年に来日して今年で7年目になります。2017年に佐賀大学に入学し、その2年後から米山奨学生として2年間活動させていただきました。奨学金をいただいたおかげで学業に集中することが出来ました。その後、佐賀大学院へ入り、現在はフジクリーン工業株式会社で研究職をしています。

私は大学時代「Nrf1」という遺伝子の研究をしていました。Nrf1は生命活動に重要な役割を持っているの

ではないかと考え、研究を進めていました。私はその中でも癌に興味を持ち、癌患者と癌患者でない方の遺伝子を調べ、Nrf1の量的評価を行いました。その結果、様々な癌の中でも、子宮癌、前立腺癌、肝臓癌の3つにNrf1が何らかの働きをしているのではないかとということが判明しました。まだ詳しく研究できていないところもありますが、私の研究室の仲間達が研究を続けて、何か発見をしてくれると信じています。

私は2019年の4月から2021年の3月まで、ロータリー米山記念奨学生として活動させていただきました。世話クラブは、第2740地区の牛津RCでした。カウンセラーの山本さんとは、一緒に韓国料理レストラン巡りをしたことが思い出に残っています。また、山本さんのご家族の方とも仲良くさせていただいて、山本さん以外のご家族の皆さんと一緒に韓国に旅行に行きました。山本さんも一緒に行きたいと思いついていましたが、諸事情があり、実現できませんでした。牛津RCではボランティア活動や日本文化体験、会社ツアー等様々な体験をさせていただきました。私は当時日本の会社について、よく分かっていませんでしたが、会社ツアーをきっかけに日本で就職する決意をしました。

私は今年からフジクリーン工業株式会社へ入社しました。フジクリーン工業は、美しい水を守ることを理念にした浄化槽メーカーです。浄化槽は日本が生み出した、微生物の働きによりきれいな水を放流する施設です。日本では昔、単独処理浄化槽と合併処理浄化槽がありましたが、単独処理浄化槽でトイレの汚水は処理できるものの、台所の排水や生活排水は処理できないということで、平成12年から設置が禁止されています。初めてこの単独処理浄化槽の製造をやめたのがフジクリーン工業になります。現在この二つの浄化槽の設置割合は半分で、まだやることは多いと感じています。私は開発部の海外チームに所属しています。国毎に「きれいな水」の意味が違うことから、私の仕事は国が要求する水質毎に、浄化槽を検討して提案させていただくことです。汚水処理施設は、健康な社会のための大切なインフラ施設だと思います。日本の他にも汚水処理施設に力を入れている国が多いため、私は世界中の汚水処理施設を改善し、きれいな水を守ることが出来るグローバルな人材になりたいと思います。

本日のゲスト

地区米山記念奨学委員会 副委員長 高木 優州 様
米山学友 馬 禎珠 様

幹事報告

伊藤 晴康 幹事

1. ガバナー補佐より、ガバナー補佐訪問についてのお礼状が届きました。
2. 次週例会は、ガバナー公式訪問合同例会のため例会日の変更となっておりますのでご注意ください。
10月24日(火) ホテルアークリッシュ豊橋

ニコニコBOX

杉江 秀介 ニコニコ委員

- 高木副委員長、米山学友馬さん、本日の卓話を楽しみにしております
福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事
- 本日の例会を担当させていただきます。国際ロータリー第2760地区米山記念奨学委員会高木優州副委員長、学友馬禎珠さん、よろしくお願いたします
井川 和英 米山奨学委員長
- 本日はよろしくお願いたします
高木 優州 地区米山記念奨学委員会副委員長
- 高木副委員長、米山学友馬さん、ようこそ。卓話をワクワクしながら楽しめます
浅倉 伸治 会員
- 出席報告をさせていただきました
江崎 雅彰 出席委員
- 今週月曜日、弊社「いちよう」がTV番組ドデスカのモーニング食コーナーで紹介されました。皆様、是非お越しくださいませ
大塩 啓太郎 会員
- 先週東日新聞と東愛知新聞に当社の急速充電ステーションの取組みが紹介されました
野寄 誠三 会員
(順不同)

歌

ソングリーダー 久保田 充三 会員



「とんぼのめがね」

誕生祝い



岡田直樹 会員 (S.31年10月29日生) 伊藤 健一 会員 (S.40年10月28日生) 井口 貴嗣 会員 (S.43年10月31日生) 長屋 麻衣子 会員 (10月22日生)

出席報告

江崎 雅彰 出席委員

当日出席者 74名 計算会員数 100名中26名欠席
総会員数 112名 出席率 74.00%

例会予定

10月24日(火) ガバナー公式訪問(豊橋北RCと合同)
11月2日(木) 結婚記念祝例会